

ひょうご

431

MIN-IREN

2026.9.10

合併号



核兵器のない世界へ

一歩ずつ、平和への願いをつないで

兵庫県内:7月4日~16日

暑い日も、仲間と声をかけ合いながら歩く平和行進、正式には「原水爆禁止国民平和大行進」。7月4日に京都から引き継ぎ、7月9日に鳥取へ引き継ぐコースと、7月7日に大阪から引き継ぎ、7月16日に岡山へ引き継ぐという2つのコースを歩きました。兵庫のまちを歩く一人ひとりの胸には、「戦争をなくしたい」「核兵器のない世界を」という願いがあったことでしょう。兵

庫民医連からも通し行進者として、尼崎より日高誠さん(左上写真先頭)が参加されました。業務の都合で参加できない日もあり、ご本人曰く「まだら通し行進者」とおっしゃいますが、この暑さの中、平和への強い願いを胸に、日高さんの歩みを止めない強い意志と精神力に、心から敬意を表します。

平和行進に参加されたみなさん、暑い中お疲れ様でした！





事業所・職場紹介

輝いています！

住み慣れた地域で 暮らし続けたいを支える！



尼崎医療生活協同組合 看護小規模多機能 虹のきずな 所長 松田 隆馬

看護小規模多機能「虹のきずな」は2025年7月1日に開設し、1年を迎えました。

コロナ禍以降、病院へ入院すると自宅へ帰りたくても帰ることが出来ず、在宅復帰を諦めなければいけないケース。最期は自宅で過ごしたい思いはあるが自宅では迎えられず、残された家族が後悔するケースが増えた中、在宅生活の限界点を上げるべく、建設されました。



看多機は在宅生活を継続するために、「通い」「泊り」「訪問介護」「訪問看護」の4つのサービスすべてを看多機の職員が対応します。そのため、職員は様々なスキルが求められますが、利用者様の生活を点で支えるのではなく、24時間365日、線で支えることが出来るのが魅力です。

2025年12月に療養型病院入院中の方が、ご主人が自宅に連れて帰って家で過ごさせてあげたいと看多機利用となりました。バルーン留置・吸引・注入と医療的ケアが多数ある中、家に連れて帰るという目標を持ち、ご主人と虹のきずなが二人三脚となり、注入指導・吸引指導・オムツ指導を行い無事に在



宅に戻ることが出来たケースがありました。現在も在宅生活を継続することが出来ています。ご主人ときずなが二人三脚で歩んでいく中で、発語こそないものの、ご本人様がテレビを見て声を出して笑うという事がありました。ご主人も何年かぶりに笑う姿を見た感動されていました。

『笑顔を引き出す介護・看護の力』の実践事例でした。

尼崎医療生活協同組合初の事業という事で、右も左も分からない状態からスタートし、至らぬ点もたくさんありますが、在宅生活の限界点を高められるように、今後も職員一丸となり取り組んでいきたいと思ひます。



事業所の窓から～歴史と地域紹介～

尼崎医療生活協同組合

JR立花駅から桜並木を歩く

28

「古墳と万葉の花の宮」
水堂須佐男神社

尼崎医療生協病院は最寄り駅がJR立花となっています。JR立花駅から西に向かって真っすぐ歩くと春には桜並木が広がっています。その桜並木の途中に水堂須佐男神社があります。

水堂須佐男神社は安土桃山時代の大正3年に創建されたと伝えられ、歴史の長い神社です。水堂須佐男神社の御祭神はスサノオノミコトです。須佐之男命は『古事記』では「須佐之男命」、『日本書紀』では「素戔鳴尊」と表記されており、神話では天照大神の弟神として語られています。

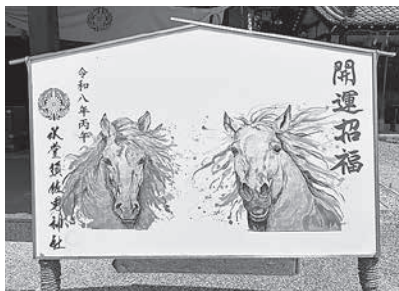
主なご利益としては厄除け・縁結び・夫婦円満・健康があるそうです。

境内のほぼ全体が前方後円墳で水堂古墳と呼ばれ、尼崎市指定文化財となっています。

水堂古墳は原型が著しく損なわれていますが、全長約60mと推定される古墳時代前期の前方後円墳です。昭和37年の発掘調査で後円部から粘土槨に覆われた長



▲水堂須佐男神社



▲今年の絵馬



▲本堂

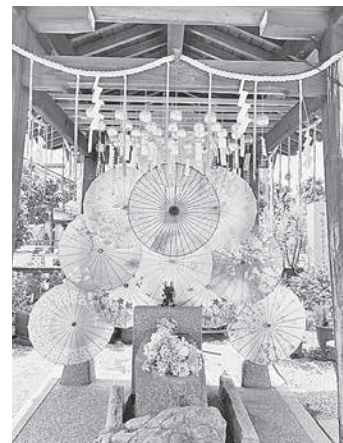
さ約7m、幅約1mの割竹型木棺が見つかりました。木棺の内側は朱が塗られ、鉄刀、短剣、鉄槍、胡ろく(矢筒)、三角緑三神四獣鏡などが副葬されていました。粘土槨は社内の水堂古墳保存館で、社務所に申し出れば見学することが出来ます。

拝殿の天井には日本画家 鈴木 靖将氏による万葉集の草花を描いた165枚の美しい絵が飾られています。

色鮮やかな花で彩られた手水舎や、境内に植えられた万葉の植物、季節ごとのお花が楽しめます。

かわいい切り絵御朱印や透明のお守りが人気で「古墳と万葉の花の宮」と呼ばれる神社です。

御朱印は月替わりで直書き対応含め、8月は3種類ありました。



▲手水舎



▲8月月替わり切り絵御朱印

原水爆禁止2026年世界大会in広島

被爆者とともに核兵器のない平和で公正な世界を

～人類と地球の未来のために

8月4日(火)～6日(木)の広島大会、全体ではのべ4100人、兵庫からは約130人、兵庫民医連からも30人が参加しました。まずは暑い中、精力的に参加・学習をすすめた参加者のみなさまに心より敬意を表します。今年のトピックスは「反核ペンライト集会」。8月5日の20時前から原爆ドーム近くで、原爆投下の目印とされたとされる「相生橋T字路」で各々がペンライトを持ち寄り、「日本政府は核兵器禁止条約に参加を」を合言葉に集いました。ノーベル平和賞を受賞した被団協など被ばく者の方はもちろん、海外からの参加者も多く見られ、橋の上は色とりどりの平和の光に照らされました。

動く分科会

碑めぐり:「慰霊碑に込められた平和への願い」

兵庫県医療事業協同組合セントラルキッチン事業部
栄養士 岡田 光紗

平和公園内の碑めぐりの動く分科会に参加して、被爆された方々の思いや平和への願いが今でも大切に受け継がれていることを知りました。原爆によって水を求めながら亡くなられた方々への思いが込められた水に関するモニュメントが数多くあり、改めて「当たり前の日常」や命の大切さについて考えることが出来ました。



岩国調査行動: 「空気」を通じて基地の存在感を 体感することの大切さ

神戸健康共和国 東神戸病院 佐藤 和弘



この分科会に参加した理由は、基地というものの存在感を体感したかったからです。実際に沖合から、そして岩国城の天守閣にある展望台から岩国基地を観察した経験などを振り返って、私はこのことに気づきました。

言葉で表現することは難しい、けれどそこにある空気感に触れることができたことは、滑走路沖合移設など岩国基地に関する出来事を学ぶうえで、私にとって大きな意義があったと考えています。

参加者の感想

外国の方が日本に来ることで、もっともっと戦争をやめたい人が一人でも増えるのではないかと思います。
(職員家族 12歳)

基地のためなら何でもするというような日米の対等でない関係を改めて痛感した。
(組合員)



民医連参加者交流会では美味しい食事をいただきながら他県の方々と交流を深めることが出来てよかったです。
(栄養士)

国を変えるのは個人ではなく政府であり、この世界大会は国を変えるための大きな政治活動なのだった。平和な世界を広げていきたいと思う。
(介護福祉士)

はじめて
参加
しました!

原爆によって多くの尊い命が奪われ、そのたくさんの犠牲の上に今の平和な生活があるのだということを、強く実感しました。

今回の大会への参加は、戦争や原爆について改めて考え、平和の大切さを学ぶ貴重な機会となりました。今回学んだことや感じたことを忘れず、これからも平和について考え続けていきたいと思っています。

ヘルス企画 薬剤師
西岡 叶夢



原爆による熱線(3000-4000度)と爆風(440m/秒)の恐ろしさを知りました。熱線と爆風の被害から逃れても放射線による被害は一生続き、病気への不安がつきまとうだけでなく差別を恐れて被ばくしたことを誰にも言えず、精神的負担を抱えて生きていかなければならないという核の罪の深さを感じます。

核兵器・戦争は絶対悪です!

宝塚医療生協 良元診療所
看護師長 森脇 弘美



平和のためには一人ひとりが「行動することが必要だが、その動機は崇高なものでなくとも「戦争に行きたくない」「子どもと暮らしたい」といった個人的な思いでもかまわない」という考えを共有した。
(管理栄養士)

資料館や被爆者の語りを実際に見聞きして、あまりにも残酷で悲惨なもので心がいっぱいになった。「戦争」を今までで一番身近に感じた。
(医療ソーシャルワーカー)

折り鶴の会:被爆者の思い

被爆者 千葉 房子



15回目の原水爆禁止世界大会に参加してきました。思い起こせば、初めて参加したのも東神戸医療互助組合から行かせていただいた2008年のことでした。それから、コロナ禍で中止された年をはさみ、ほぼ毎年、広島か長崎を訪れています。

今、終末時計は「残り85秒」と、地球規模の危機が迫っていることを示しています。被爆者が命がけで訴え続けてきた声が、いまだ為政者たちに届かないことに虚しさを感じます。それでも、世界大会に集まった海外代表や日本全国から駆けつけた多くの人たち、特に若い人たちの姿に希望を感じました。

私たち被爆者の命あるうちに、核兵器のない地球が実現することを切望しながら、広島をあとにしました。

被爆の体験を次の世代へ

千葉さんは当時4歳で被爆しました。お母さんは5人目のお子さんを身ごもっており、原爆投下後の混乱の中で陣痛に見舞われました。何とか病院へたどり着いたものの、十分な医療を受けることができず、消毒液を手に自宅へ戻り、自ら出産に臨んだそうです。

へその緒の炎症など幾多の危機を乗り越え、生まれた子どもは命をつないだそうです。

こうした家族の苦難を経験してきた千葉さんは現在、被爆者として自身の体験や平和への願いをさまざまな場で語り継いでいます。



生存権 No.189

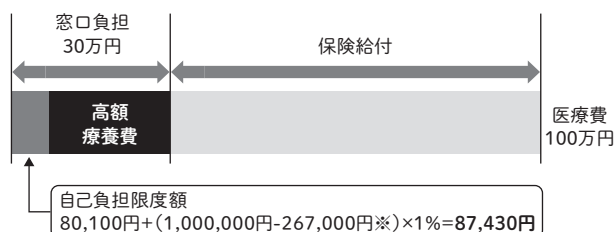
医療費負担を抑えて 療養生活を支える高額療養費制度

兵庫民医連 SW委員会

はじめに

高額療養費制度とは、医療機関や薬局の窓口で支払った医療費が、1か月（月の初めから終わりまで）で上限額を超えた場合に、その超えた分が払い戻される（または窓口での支払いが上限額で止められる）公的医療保険の制度です。例えば、医療費の総額が100万円の場合、3割負担の方であれば30万円の自己負担になります。年収が370～770万円の場合、限度額の上限は87,430円となります。

例：70歳未満・年収約370万円～約770万円の場合（3割負担）



経過

60歳代のAさんは、働いている子どもBさんとの2人暮らし。抗がん剤の治療が終了し、緩和ケア医療を受けるために入院してこられました。入院時の聞き取りで、BさんがダブルワークをしてAさんの医療費や保険料の支払いをしていると聞いた看護師から紹介され、MSWが面談をしました。前医で治療中にAさんに医療・介護保険料の未納があることがわかり、Bさんが生活相談に役所に行ったが、Bさんの就労所得があり生活保護には該当しないと言わ

れ、AさんをBさんの健康保険の扶養に入れて高額療養費を利用することを勧められたこととお聞きしました。MSWは高額療養費の世帯合算制度の手続きを案内して経済的負担の軽減を援助しました。

Aさんは入院後、症状が落ち着き、本人の希望もあって、短期間の在宅での生活をはさみながら7か月余りの入院療養の後永眠されました。Aさんの当院での一部負担金は1～3か月目までは月最大89,000円、4か月目以降は月44,400円でした（多数回該当）。これに食事代を加えると7か月で合計103万円余りの請求になりました。

高額療養費制度は、療養生活を支えるセーフティーネットの機能として、患者家族にとってはなくてはならない制度です。しかし、癌などの長期の治療療養が必要な方にとっては、その金額は決して安くはなく、医療費の支払いが、患者やその家族の生活を圧迫する状況があると感じました。自己負担限度額は段階的に引き上げられており、2026年8月からさらなる引き上げが実施されます。この制度が本来のセーフティーネットの機能を果たす制度になり続けていけるよう注視し、改善を求めていく必要があると思います。

※世帯合算…1か月に同じ世帯の中で、公的医療保険を使って支払った自己負担額（70歳未満は21,000円以上）をすべて合算して上限額を超えた場合に後日払い戻しになる。

※多数回該当…直近12か月の間に高額療養費の支給を受けた月が3回以上ある場合、4か月目からは上限額が引き下げられる。

※入院食事代…1994年度入院時食事療養費制度創設で、食事代が医療費から切り離されて高額療養費制度の対象から外されている。

憲法caféⅡ はじまりました

対話にとりくみましょう!



読者の声

●法人トピックの元気な中野さんの姿に、こちらも元気をもらいました。
ふれあい薬局板宿 左近允絢子

●前号の生存権の記事を読みしました。昨年末「食べれなくなった時のために胃瘻を作っておけと往診の医師に言われた」と受診された患者さんと家族がおられました。まだ経口摂取可能で、誤嚥もむせもない患者に対してそんなことを勧める医師もいる中、このような家族に恵まれたA氏はきっと幸せだっただろうと感じました。

尼崎医療生協病院 井上美里

●今年の夏も暑くなりそうです。日傘を買おうと思います。

東神戸病院 山本浩介

●事業所紹介をして頂きました。改めて頑張ってるなあ、私達…と嬉しかった。NPTの報告の写真が生き生きとして読み応えもありました。

宝塚医療生協デイサービスひだまり
川内真希

●医薬研究所では健康相談コーナーを実施し、7/24に薬局で健康イベントを行いました。暑い季節になりましたが、イベントで地域を盛り上げられたらいいと思います。みんな元気にこの夏を乗り切りたいです。

東神戸薬局 藤井希和

●今年初めてのセミの鳴く声を聞いて、気が早いなあと思っていたのですが、そのすぐ後に梅雨明け宣言が出て、自然の力はさすがと思いました。

東神戸病院 黒瀬智子

●兵庫民医連のキャラクター「ひょうごろう」かわいいですね!

ペンネーム あーちゃん

●暑くなってきました。水分を摂り、睡眠をしっかりとり、体調に気をつけて働らかねばと思っています。中国ドラマにはまってしまう、寝不足気味です。まあ、楽しみも大切だからと、思っていますが、ほどほどにしないと。

ペンネーム ちこ

●46年間、民医連の仲間と共に働く事が出来ました。感謝です。70歳を期に退職し、アルバイトとして、週2回勤務しています。お世話になった皆様、ありがとうございました。

ヘルスコープあぼし診療所
森山昌光

●(事業所紹介のデイサービスひだまりの記事より)皆苦しかったコロナ禍を、スタッフの創意工夫と協力で乗り越えてきて、「楽しそうだから家族に行かせたい」と思えるような場所であることが素敵だなと感じました。ぜひこれからも、家で介護できないからという消極的な理由ではなく、楽しいから行っていると思えるデイサービスであってほしいと、応援しています。

神戸協同病院 前川琴音

●何ヶ月ぶりかにはがきを出します。兵庫民医連公認キャラクターの「ひょうごろう」とてもかわいいですね。事業所紹介でデイサービスひだまりの見慣れた皆さんの顔が写っていてうれしいです。

HSTひだまり 有助辰恵

●20年近く月下美人を育てています。お隣へも挿し木であげたのに、姑が天国へ持っていき、枯れてしまいました。今はそのお隣から挿し木をいただき、月下美人の赤ちゃんを育てています。

HSTあぼし 三木愛里

まちがいさがし 9・10月

正解者のうち5名の方に
図書カードを差し上げます。

まちがいは8つ



作・小田 求



【応募のきまり】

〈締切〉2026年9月30日(水) ◇当選者は2026年11・12月号に掲載。

〈応募〉1人1通。はがき又はEメールで。

氏名(投稿はペンネームでも可)、院所名(職場・職種)、O Bの方は在職時の法人名を記入の上、下記へ送付して下さい。

〒650-0047 神戸市中央区港島南町5丁目3-7
兵庫民医連ニュース「クイズ」係

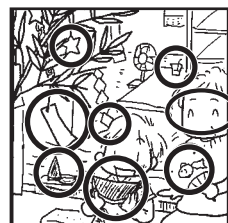
〈Eメール〉kikansi@hyogo-min.com

※余白に、①興味深かった記事と感想、②事業所での取り組み紹介、③近況、④ニュースへのご意見等、お書き下さい。

7・8月号の応募者は
16名で全員正解で
した。右記の5名の方に
図書カードを進呈。

- ①川内 真希 (DSひだまり)
- ②ち こ (ペンネーム)
- ③田中 理紗 (共立病院)
- ④前川 琴音 (神戸協同病院)
- ⑤有助 辰恵 (HSTひだまり)

7・8月号
の答え



法人 topics

神戸医療生活協同組合

連載コーナーです。

法人で“キラッと輝く”職員の、民医連で働き続ける理由や、こだわりを紹介します。

訪問看護ステーションつばさ

宮本 公子さん

看護師



入職したきっかけ

高校の先生のすすめ。

神戸医療生協に18歳で入職し今年で45年、病院・本部・クリニックなどを経て現在は訪問看護ステーションつばさで勤務しています。入職のころはとんでもない「おてんば娘」と言われていましたが、当時の看護部長が「気の強さが看護師に向いている」と入職を決めて下さったとあとから教えて下さいました。

仕事でのこだわり・民医連で働き続ける理由

一度も転職しなかった理由は、単にやめなくなる理由がなかったからです。気管切開をしている患者様の帰宅希望に理事長先生が背負ってかなえて下さったこと。介護保険が充実していない時期、ターミナルの患者様の外泊にチームで取り組み実現したこと。本部勤務では地域の組合員さんと、様々な活動を行ったり地域訪問をしました。民医連綱領にある「患者中心」「いのちの平等」「平和活動」など自身の看護観の礎となっています。

プライベート

もっぱら孫「あーちゃん」との時間が最高の癒しになっています。最近やっと手をつないで歩いてくれるようになりました。会えるのは月2回ぐらいですが、次会えるのを楽しみに毎日地域を走り回っています。



神戸医療生協

訪看つばさ 猛暑の中、がんばってます！

訪問看護ステーションつばさ 宮本 公子

訪問看護ステーションつばさは神戸市長田区の神戸協同病院の近くにあります。看護師10名（常勤5名非常勤5名）事務1名と、協同病院からのリハセラピストの支援をうけながら、約150名の利用者訪問を行っています。訪問の移動手段は主に自転車です。雨の日



にはカップを着て、真夏の暑い日はタオルを首に巻いて、日々走り回っています。みんな経験豊富で常に患者ファーストに考えられるス

タッフばかり。事務所では「一人で抱え込まない」「コミュニケーションを大切に」を掲げ笑顔の絶えない職場です。最近は癌の終末期などの毎日訪問が増えています。地域だけでなく指示書を頂く主治医から選ばれるステーションを目指し日々奮闘しています。今年度は組合員活動にも参加して行きたいと考えています。



雨バージョン

真夏バージョン